



# 阿蘇地域 世界農業 遺産

認定10周年記念誌

阿蘇地域世界農業遺産推進協会

Aso Region Globally Important Agricultural Heritage Systems  
10th Anniversary Commemorative Book



阿蘇地域  
世界農業  
遺産  
認定10周年記念誌

# 10th Anniversary Commemorative Book

Aso Region Globally Important Agricultural Heritage Systems

## ご挨拶

### 阿蘇地域世界農業遺産 認定10周年記念誌の発行にあたって

阿蘇地域世界農業遺産推進協会  
会長 原山寅雄



千年にわたり、人々の手で阿蘇の草原を受け継いできた営みが「阿蘇の草原の維持と持続的農業」として平成25年(2013年)5月に世界農業遺産に認定されてから、この度10周年を迎えました。これまで阿蘇の農業の発展に尽力してこられた先人たちに対し、敬意を表するとともに、皆様の御支援、御協力に深く感謝申し上げます。

阿蘇地域が認定を受けてからこの10年間、農業の持続的発展に向けて、熊本県内外でのフェア開催や阿蘇の資源を保全・活用する活動の推進、さらにはロゴマークを活用した農畜産物のPRに力を入れて取り組んでまいりました。

これまでの活動の1つの区切りとして、また、記録として後世に残していくため、この度、「阿蘇地域世界農業遺産認定10周年記念誌」を発行する運びとなりました。

当協会では、今後も広く関係の皆様の御指導を賜りながら、世界農業遺産の価値を発信し、阿蘇の農業の更なる発展に寄与して参ります。

最後に、本記念誌の発行に際しまして、御尽力、御協力いただきました関係各位、御祝辞や御寄稿を賜りました皆様方に厚く御礼申し上げまして、御挨拶の言葉といたします。



## 目次

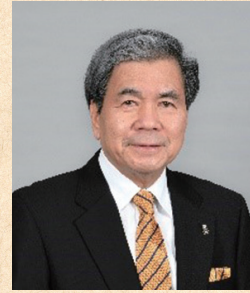
|                                   |        |
|-----------------------------------|--------|
| 阿蘇地域世界農業遺産<br>認定10周年記念誌の発行にあたって … | 01     |
| 祝辞1 (蒲島郁夫) ……………                  | 03     |
| 祝辞2 (宮本けんしん) ……………                | 04     |
| <br>本編……………                       | <br>05 |
| Ⅰ 阿蘇地域世界農業遺産の概要 ……………             | 05     |
| Ⅱ 10年間の歩み ……………                   | 06     |
| 1 認定の経緯 ……………                     | 06     |
| 2 年表、写真 ……………                     | 08     |
| 3 阿蘇地域内の取組、他団体との連携 …              | 25     |
| 4 頂いた寄付金 ……………                    | 29     |
| 5 10周年記念式典、エクスカージョンの開催            | 33     |
| Ⅲ 歴代役員 ……………                      | 37     |
| Ⅳ 協会規約 ……………                      | 38     |
| <br>あとがき(草村大成) ……………              | <br>43 |



## 祝 辞

熊本県知事

蒲島 郁夫



この度、阿蘇地域が世界農業遺産に認定されて10周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。平成25年(2013年)5月29日の世界農業遺産認定から今日に至るまで、原山会長をはじめ、役員の皆様や関係団体が先人から受け継がれてきた草原を活かす知恵や技術を未来につなぐため、弛みない努力が続けられていることに心から敬意を表します。

これまで、阿蘇地域では、野焼き、放牧、採草といった、草原を活用した循環型の農業の営みが千年以上継続され、これにより、農業と自然が織りなす美しい景観や多くの希少生物が生息する雄大な阿蘇の草原、農耕祭事等の伝統文化が形成されています。この阿蘇ならではの人と草原が共生する農業の営みが、次世代に継承すべき世界農業遺産として認定され、農家の方々のみならず、熊本県民の皆様にも誇りと大きな夢を与えてくれました。

世界農業遺産の認定は、阿蘇地域に初めてもたらされた世界的評価であり、その価値を次世代に引き継ぐことは、阿蘇地域が目指す世界文化遺産登録に向けても重要なことであると考えます。

県としましても、引き続き熊本が誇る世界の宝である雄大な草原や美しい農村景観、文化、多彩な農産物の魅力を県内外の皆様に発信していきます。

結びに、阿蘇地域世界農業遺産のますますの御発展並びに関係各位の皆様方の御活躍・御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

## 祝 辞

antica locanda MIYAMOTO オーナーシェフ  
阿蘇地域世界農業遺産推進協会 顧問

宮本 けんしん



阿蘇地域が世界農業遺産に認定されてから10年。この節目に記念誌を発行されるということで、本当におめでとうございます。

私が、阿蘇を農業遺産に！と活動を始めてからの2年間の道のりは、決して順風満帆ではなく、様々な妨害や国連からの難題もあり、その多くは困難を極めました。これらを乗り越えることができたのは、阿蘇の若手を中心とした農業者や商工業者の皆様の熱い応援があったからです。そして、お互いの立場を超えて、共に認定までプライベートや睡眠を削って励まし合いながら歩んだ熱意ある県庁職員の皆様のおかげです。

私がイタリアでの料理修行から戻り、熊本で料理人としての道を歩み始めた頃、あか牛をはじめとする阿蘇の豊かな自然と伝統的な農業文化に触れ、その価値を世界に知らしめるべきだと確信しました。

その後、農業遺産の活動だけでなく、私個人としても、東海大学や生産者の皆様と、あか牛の研究や阿蘇の農産物のPRを続けています。

九州北部豪雨、熊本地震、熊本豪雨を乗り越えた世界農業遺産『阿蘇』。これからの10年は、日本中、世界中の人に、阿蘇の『真価』と『進化』を伝えるフェーズに入っていると考えます。県や市町村、また地元の方々をお願いしたいのは『農業遺産』や『世界遺産』に認定されることは『ゴール』ではなく、あくまで『スタート』である、ということ。『活用してなんぼ』なのです。

私は、これからも『食』に携わる人間として阿蘇の魅力を伝え続け、次世代に引き継いでいきたいと思っています。阿蘇の未来に向けて、さらなる発展と繁栄を祈念いたします。